

幼児教育保育学科
複数の「新しい能力」への対応(2024年度版)

国立教育政策研究所『児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について』H14.11

幼稚園教諭
モデルカリキュラム

「保育所保育指針」

幼児教育保育学科

学修(習)成果	学士力(学士課程答申)	社会人基礎力			OECD KEY COMPETENCIES			職業的(進路)発達 (キャリア発達) にかかわる諸能力				これからの時代の幼稚園教諭に求められる資質能力				保育所職員に求められる専門性				幼児教育保育学科 卒業の認定に関する方針 (2019.11.19)		常磐短期大学 卒業の認定に関する方針 (2022.12.13)			
分類	概要(構成要素): DPへ展開	前に踏み出す力	考え抜く力	チームで働く力	作①用言語 に活用する 能力	関②係多様 形成集団 における人 間	③自律的 に行動する 能力	人間関係 形成能力	情報活用 能力	将来設計 能力	意思決定 能力	幼稚園教諭 として不易と さ	新たな課題 に対応できる 力	組織的・協働 的に諸問題を 解決する力	倫理観、人間 性、責任との 自覚を基盤と して、子ども の育ちを行う 力	専門・技能を 高め得る、向 上に知努め	組織の一員と して、協働組 む力の向上に 取り組む	主文 学修成果	(主文) 幼児教育保育学科では、人間性豊かで倫理観を備え、多様な課題に対し主体的・自律的に取り組むことができる実践力のある保育者の養成を目指します。そのために、本学の建学の精神、教育理念、教育研究上の目的等に基づき編成した教育課程を通し、所定の単位を修得することで、次の知識・技能や資質能力を身につけた学生に「短期大学士(幼児教育保育学)」の学位を授与します。	主文 学修成果	(主文) 本学の建学の精神および学則に示された教育理念・教育の目的等に基づき、短期大学士としての広く深い教養と専門知識を基礎として、さらに専門性と創造性を高め、人格を磨いていくことができる学生を社会に送り出します。				
知識・理解	特定の学問分野における基本的な知識を体系的に理解するとともに、その知識体系の意味と自己の存在を歴史・社会・自然と関連付けて理解する。																	知識・技能	1.教養科目を含む授業科目からなる学修を通じて、卒業後も自らの資質を向上させながら、社会的及び職業的自立を図るための基礎的能力を身につけた学生。						
	(1)多文化・異文化に関する知識の理解																								
	(2)人類の文化、社会と自然に関する知識の理解																								
汎用的能力	知的活動でも職業生活や社会生活でも必要な技能																	汎用的能力							
	(1)コミュニケーション・スキル 日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。	働きかけ力		発信力 傾聴力 柔軟性																					
	(2)数量的スキル 自然や社会的事象について、シンボルを活用して分析し、理解し、表現することができる。																								
	(3)情報リテラシー 情報通信技術(ICT)を用いて、多様な情報を収集・分析して適正に判断し、モデルに則って効果的に活用することができる。																								
	(4)論理的思考力 情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。		課題発見力 計画力 創造力																						
	(5)問題解決力 問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。	主体性 実行力	課題発見力 計画力 創造力																						
態度・志向性	(1)自己管理能力 自らを律して行動できる。	主体性 実行力	計画力	ストレスコントロール力														4 自律性・協働性		態度・志向性					
	(2)チームワーク、リーダーシップ 他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。	主体性 働きかけ力 実行力	計画力	発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力																					
	(3)倫理観 自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。			ストレスコントロール力																					
	(4)市民としての社会的責任 社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使しつつ、社会の発展のために積極的に関与できる。	主体性 実行力		状況把握力 規律性 ストレスコントロール力																					
	(5)生涯学習力 卒業後も自律・自立して学習できる。	主体性 実行力	計画力																						
総論・学修成果	獲得した知識等を活用し、新たな課題に適用し課題を解決する能力	主体性 実行力	課題発見力 計画力 創造力															【高大接続改革】社会で自立して活動していくために必要な「学力の3要素」 ①知識・技能の習得 ②知識・技能を活用して、自ら課題を発見しその解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力 ③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度							

社会人基礎力の分類は、①②による。
①〈表3-2「基礎的・汎用的能力」とこれまでに提唱されてきた関連する諸能力との関係について(試案)〉(『キャリア発達にかかわる諸能力の育成に関する調査研究報告書』文部科学省・国立教育政策研究所生徒指導研究センター、平成23年3月)
②『社会人基礎力 育成の手引き ―日本の未来を託す若者を育てるために― 教育の実践現場から』(経済産業省 制作・調査河合塾)63頁(表「社会人基礎力」と「学士力(例)」の関係)

①平成28年度幼稚園教諭の養成課程のモデルカリキュラムの開発に向けた調査研究―幼稚園教諭の資質能力の視点から養成課程の質保証を考える―(一般社団法人 保育教諭養成課程研究会、平成29年3月)
1. 幼稚園教諭として不易とされる資質能力
1-1. 幼稚園教育要領に示す5領域(健康、人間関係、環境、言葉、表現)の教育内容に関する専門知識
1-2. 5領域の教育内容を指導するために必要な力
・幼児を理解する力や指導計画を構想し実践していく力
・様々な教材を必要に応じて工夫する力、等
1-3. 家庭と連携して幼児一人一人の成長を支えるための力
・保護者との関係を構築する力
・小学校教育との円滑な接続のために必要な力
・特別支援が必要な幼児への指導を実践していくために必要な力、等
2. 新たな課題に対応できる力
自律的に学ぶ姿勢をもち続け、自ら資質能力の向上に向けて努力を惜しまない
新たな課題に対応できる力
3. 組織的・協働的に諸問題を解決する力
さらに限られた人材の中で効果的に連携し仕事を分担するなどの組織的・協働的に諸課題の解決に取り組む力の醸成

保育所職員に求められる専門性
(第5章職員の資質向上 1 職員の資質向上に関する基本的事項)
・子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育を行う(ための能力)(基盤)
・職員一人一人の倫理観
・人間性並びに保育所職員としての職務及び責任の理解と自覚
→各職員は、自己評価に基づく課題等を踏まえ、保育所内外の研修等を通じて、それぞれの職務内容に応じた専門性を高めるため、必要な知識及び技術の修得、維持及び向上に努めなければならない。